

奈良県生駒市 生駒東小学校「防災研修」開催報告

- 1 日 時：平成 23 年 1 月 13 日 14 時 00 分～15 時 35 分
- 2 場 所：奈良県生駒市立生駒東小学校 多目的教室
- 3 講 師：NPO 法人都市災害に備える技術者の会（神戸防災技術者の会）
神戸防災技術者の会（神戸市住宅供給公社）
（陪席）NPO 法人都市災害に備える技術者の会
- 4 対象者：生駒東小学校 6 年生全員 約 120 名
担任 4 人
- 5 題 名：～阪神・淡路大震災の様子を聞き、地震への備えを学ぶ会～
- 6 内 容：I 部

- 1) 地震の時の様子
- 2) 地震がおきたらどうするか
- 3) 地震はなぜおきるか
- 4) 建物を地震に強くすれば命は守れる
- 5) 紙ぶるるによる筋交いの効果
- 6) 家の中も安全に（家具の置き方チェック）



紙ぶるるに筋交いをいれ効果を実感

II 部

- 1) 避難所の生活
- 2) ボランティアの活動と子供の活躍
- 3) 液状化の説明と実験
- 4) おわりに・自助・共助・公助の大切さ

7 質問と回答

- ・ Q：プレート境界型地震の説明で海側プレートが沈み込むという説明があったが、沈み込んだ後どのようなようになるのですか。
- ・ A：地殻の下にあるマントルが高温のため溶け、マントルの対流で上昇してくる

8 伝承活動を終えて

- ・ レジメ記載のように伝える項目と対応策、減災方法など項目が多い中での理解度を感想文から察し、今後の伝承に活用することが必要。また項目の集約化についての議論も必要。
- ・ 話すことのみでは、2 時間子供達の関心を引き続ける事は難しい。実験を取り入れ体験を通じて理解度を高めるためのツールの開発が必要。
- ・ 感想文から各児童が大切と感じた事は異なっており、項目は多くても全体を伝える必要性を感じる。

(以上)



熱心に講義を聴く児童達



筋交いの効果の説明



液状化の実験